

西田 太陽さん  
Nishida Taiyo

〔大町区〕

にしたいよう / 甲佐町地域  
おこし協力隊として町公営塾  
「あゆみ学舎」を運営。地域に  
密着した甲佐高校ならではの学  
びを通して、生徒たちの自己実  
現に取り組む。京都府出身。

## 地域に根差す高校ならではの 学びで自己実現を支援

「コロナ禍で難しくなっ  
てしまった地域社会との交流に  
よる学びを部分的ながらも継  
続できているところが甲佐高  
校の強みだと感じます」と話  
すのは、甲佐町地域おこし協  
力隊の一員として県立甲佐高

校に併設された町公営塾「あ  
ゆみ学舎」の運営に取り組む  
西田太陽さん（大町区）。  
県内唯一の公営塾である  
「あゆみ学舎」は、同校の魅  
力化事業の一環として、生徒  
一人一人の夢を実現するため

に町教育委員会が設置。今年  
秋には開設5周年を迎える。  
西田さんは、生徒たちの理解  
度や進路に合わせて学習を支  
援。基本的な教科の指導だけ  
でなく、社会で必要なスキル  
の習得もサポートしつつ、地  
域の協力を得ながら生徒の自  
己実現の手助けにも取り組ん  
でいる。  
西田さんが「あゆみ学舎」  
に興味を惹かれたのは、大学

在学中に高校生向けの授業を  
経験したことがきっかけ。教  
師よりも身近な立ち位置で高  
校生と関わりたいと感じたか  
らだという。

「甲佐高校は一学年約30人  
と少人数です。おかげで都市  
部の高校に比べて生徒一人一  
人と向き合える環境が整って  
おり、先生と生徒との距離も  
近いように感じます。今年度  
から取り組むワークショップ  
では、あゆみ学舎の塾生を中  
心とした甲佐高生だけでなく、  
甲佐中の生徒や東京大学大  
院の若手研究者、地域の皆さ  
んといった学校の垣根を超え  
た交流も生まれています」

昨年5月に移住してからこ  
のまちで暮らす中で、人との  
つながりや温もりが日常にあ  
ふれていることに驚いたとい  
う西田さんは「都市部の学校  
には真似できない、人情に満  
ちた地域と連携する高校なら  
ではの学びがここにはありま  
す。心豊かな人々が紡ぐ歴史  
や文化に彩られたこのまちの  
魅力を生徒たちと一緒に学ん  
でいければ」と甲佐高生の歩  
幅に合わせて歩み続ける。

## 広報 こうさ

2022年（令和4年）3月号  
通巻632号